



広報

# みまた

58/5月号

発行

昭和58年5月10日

(第174号)

宮崎県北諸県郡三股町

編集

職員課



## 今月の主な行事

- 5月15日 町内一斉大清掃
- 16日 乳児相談
- 17日、31日 移動児童相談室開設
- 18日、25日 母子保健教室
- 24日 育児教室

## 健やかな子供の成長を 願って育児教室

5ヶ月児を対象に育児教室が、去る4月26日、中央公民館で開かれました。赤ちゃん体操や離乳食の与え方、精神発達などについて、実技とスライドを通じて学習しました。健やかに成長するよう望みたいものです。

(写真は離乳食の作り方)

# 春の全国交通安全運動

5月11日～20日

ドライバーは安全運転の原点に戻ろう

今年も五月十一日から二十日までの十日間、「春の全国交通安全運動」が実施されます。この運動は、多発する事故を防止し、町民一人ひとりに交通安全思想と交通道德を普及徹底し、正しい交通ルールとマナーの実践を習慣付けて、いただくことを目的としています。

更に、ドライバーの皆さんには、悲惨な交通事故の加害者や被害者とならないようもう一度、安全運転の原点に立ち返り、万全の注意を払いましょう。

わが国の自動車保有台数は、二輪車を含めて五六百万台に上り、世界第二位の保有台数です。また運転免許保有者は四千七百万人とを超え、運転免許適齢人口の二人に一人は免許保有者となっています。

これらの数字は年々増加しており、また、交通事故の特徴を見ると、スピードの出し過ぎにより単独でガードレールなどにぶつかる無謀運転や歩行中の子供とお年寄りの事故が著しく増加しております。

次の三項目を重点に運動が展開されます。

一、歩行者および自転車利用者、特に子供と老人の交通事故防止  
二、二輪車の安全利用、特に交差点での安全確認の励行とシートベルト着用の徹底  
三、安全運転の確保、特に交差点での安全確認の励行とシートベルト着用の徹底

時代を迎えるとしています。  
一方、交通事故による死者数は、ここ数年ほど年々比べて増加しています。  
たが、昭和五十七年中は、

(四・一%の増加となつてあります。  
全国で九千七十三人と前年比三百五十四人  
また、発生件数、負傷件数、負傷者

が多く発生しています。  
交差点では必ず一時停止をして左右の安全を確認しましょう。

ハンドルを握たら必ず守らう安全運転五則

一、安全速度を必ず守る  
二、カーブの手前でスピードを落とす  
三、交差点では必ず安全を確かめる  
四、一時停止で横断歩行者の安全を守る  
五、飲酒運転は絶対にしない

スピードの出し過ぎは大きな事故につながります。時速三十キロの制限速度を守り、安全運転に努めましょう。





# 町の話題

米消費拡大推協で料理講習会と座談会を開催

米消費拡大推進協議会(県農林振興局と町協議会)では、米食を中心とする食生活の改善を図ろうと、先程7地区公民館で料理講習会と座談会を開催しました。

午前中は、バランスのとれた食生活と成人病予防対策としての料理講習が行われ、また午後からは米消費拡大をめざす座談会に地域の婦人約50名が参加され、お米の価格や消費量、学校米飯給食などについて活発な意見が交換されました。



## 健康は体力に応じた運動で町民体力テスト

最近、健康づくり体力づくりへの関心が、とみに高まっているなかで、町民の健康を体力の推持増進を図るため先頭、町民体力テストを武道体育館で開きました。参加者は自分の健康と体力の現状を把握しようと、反復横とびや垂直とびと筋力、握力などの種目に熱心に取り組んでいました。

ほかに血圧測定や健康相談が行われ、的確な診断に基づいてこれから健康と体力づくりに大いに役立つことでしょう。



和牛の資質向上をめざして品評会

第2期の和牛品評会は、去る3月4日畜産センターで行われ、成績は次のとおりでした。(優等のみ)

メスの部  
小浜正雄(大野) 小牧八平(仮屋) 初森 広(餅原)  
小倉幸男(下新) 下石松義(谷) 高野 直(蓼池)  
吉川 重(中井) 菊村其宗(蘿湖)

吉川 男(中木)	里行 鶴志(蓼池)
有成一種	
松崎信男(蓼池)	出水新次( 谷 )
育成二類	政野政信( 谷 )
石坂正行( 榆田 )	鍋倉昭三( 榆山 )
福富義親( 鮫原 )	溝口サツキ( 榆山 )



五秒後にはえり元にまで達します。ところが、同じ素材でも下着のよう、肌に密着しているものは、比較的燃えにくいのです。つまり、スカートやネクタイリジエのように、ノーツとした形のものが、より火のまわりが早いということになります。

衣類の火災となる原因は、たき火、ガスコンロなどが多いようです。衣類火災の危険は、思わぬところで潜んでいます。

動物性食品や脂肪のとぎすぎで、心臓病などの成り人病に悩んでいるアメリカでは、最近日本食がブームとなっています。

米を中心、魚、大豆製品から

いわれます。  
このように、栄養価に富み、和洋中、どんな副食にでも合い、しかも国内で一〇〇%自給でき、いいことづくめの米ですが、米食によつて、塩分攝取が過多になる傾向と、カルシウムが不足がちになることは、よく心得て、塩分のとりすぎを抑え、牛乳を使つたやかずなどを取り入れてカルシウムの不足を補う工夫を大いに生かしましょう。

道の蛇口など、水まわりの点検をしましよう。

屋根の塗り替えは、ワイヤーブラシでサビの箇所をこすり落としてからトタン用塗料を塗ります。このとき、トタンの棟に足をかけて注意して下さい。屋根の隙間から雨もりがあるときは、防水テープを貼っておきます。五、六年目には外壁の塗り替え、鉄製門扉、フェンスの塗り替え、建具の点検などを。門扉、フェンスは、全面にワイヤーブラシをかけ、サビの部分はさすがにでもつけておきましょう。

風しんワクチンは、一度打てば一生効果があり、副作用も少なくして安全性は高いとされていますが、生ワクチンなので、妊娠中に接種することはできません。生理の直後など、妊娠していないことがはつきりわかるかっている時を選んで接種を受けたこと、接種後二ヶ月間は妊娠しないことが大切な条件です。最も望ましいのは、婚約したらすぐに抗体検査を受け、免疫がないとわかれれば、早めに接種を受けたこと。検査と接種は産婦人科医がワクチン接種をしている小児科で行っています。

近々結婚を控えている人、将来子供を生む予定の人で、風しんの免疫に不安のある人は、ぜひ今すこ検査を受けて下さい。

私たちがふだん着る衣類  
素材は、化学繊維、綿など  
が、これらは意外に火に弱く、何  
かの拍子で火がついた場合、アツ  
という間に燃え広がつて大ヤケド  
を負うケースが多いという実験の  
データがあります。燃えやすさの  
度合は、繊維素材とデザインに関  
係しています。

たん白質とビタミンをバランスよく摂る伝統的な日本食が、食生活改善によって健康づくりを目指すアメリカ人には、一つの理想として映つたようです。

しておきましょう。  
築後一年目の点検は、外壁、雨  
どい、トタン屋根。トタン屋根は  
クギなどが落ちてもいいサビがで  
てないかを調べます。雨どいは  
ゴミや木の葉などをとり除き、掃  
除をして雨の通りをよくします。  
壁にヒビ割れができるいたら、油  
性コーキングを塗り、上から灯油漆  
を浸した布で、割れ目の中に埋め  
こむようにのばしておきます。

ペイントを塗ります。すつかり乾いたら、塗料の二度塗りを。見違えるほどきれいになります。

## おしらせ



置県(宮崎県)百年で

### 記念行事を計画

明治十六年五月九日宮崎県は鹿児島県から分離し、再置されたから五月九日で満百年を迎えました。

この置県百年を記念して県では、次のような行事が催されます。

○県民体育大会炬火リレー

五月二十二日～二十八日(県内一円)

本町は二十四日～二十五日

○県民体育大会  
五月二十八日、二十九日(県連動公園ほか)

○記念式典  
五月二十八日(宮崎市民会館)

○産業まつり  
五月二十八日(えびの市)

(県総合博物館)

以上のはか、百年のあゆみ展、県民美術展覧会、青少年フェスティ

十日(三月二十日)

○県体育館及びえびの市

県政に対するご意見やご要望、ご批判をお持ちではありませんか。県では「明るく肌のふれあうあ

### あなたの声を県政に

**税金は滞納しない  
ように早めに納入  
しましょう。**

6月は県町民税  
1期分の納月と  
なっておりまます。

### 三股町の人口

昭和58年5月1日現在

人口18,340人 出生 19人

男 8,697人 死亡 16人

女 9,643人 転入 179人

転出 177人

世帯数 5,675戸

前月比 +5人

イバルなども計画されています。  
悪質不動産業者に御注意!  
マイホームの夢を食いものにする悪質な不動産屋が横行しています。長年かかる貯えたトラの子のマイホーム資金をだまし取られたり、粗悪な物件を高く買わされるなどの気の毒な事業が最近発生しています。

土地や家を購入する場合には、悪質不動産業者からだまされないように次のことに注意して下さい。  
一、広告には、必要な事項が表示されているかどうかを調べましょう。(広告主の住所、氏名等)  
二、業者は正式な免許を持った人がいるかどうか。  
三、自分で現地や現物を見て登記所で登記簿を調べましょう。

四、法律で認められた、建築制限を調べておきましょう。  
五、警察署では、被害を未然に防止するため保安課に電話相談コーナーを設置し、必要なアドバイスを行っていますので、お気軽にお尋ね下さい。  
電話〇九八五(三)五〇五〇

### 行政書士センター開設

県行政書士会都城支部では、この程、行政書士センターを開設しました。  
●場所、都城市東町(都城警察署前) 時間 平日、午前9時～午後5時まで  
●業務、官公署に提出される各種の書類作成

●時間 平日、午前9時～午後5時まで  
土曜日、午前9時～午後2時まで  
※お気軽にご利用下さい。  
電話〇九八六(一)五一六〇一一番

たたかい県政」をすすめるため、県民の皆さんのご意見などをハガキを使ってお聞かせいたたく「県政への提言」制度を実施しています。専用のハガキは、県の施設や役場、中央公民館に用意してありますので、お気軽にご利用ください。

◎図書の寄贈について  
さき程、次の方から貴重な図書のご寄贈がありました。  
池畠朗さん(上米)  
文学全集ほか四十六冊

### 愛の二寄付

昭和五十八年四月一日から  
昭和五十八年四月三十日まで

寄付者	続柄	故人名	金額
董領金助(息子)	純則	谷	二万円
白浜ヨシエ(夫)	忠信	東原	一万円
森 弘男(夫)	長倉サチ子	下新	一万円
博原シヅエ(夫)	雅盛	樋山	一万円
西村世都夫(母)	ヒデ	谷	三万円
橋口良成(父)	与三	次今市	五千円
吉行國彦(妻)	ミヤ下	新	三万円
太田紀之(母)	ユリ	山原	三万円
松野幸市(妻)	和子	大き子	一万円
草留智(母)	ケサノ	仲町	一万円
永山キクエ(夫)	常盛	新	二万円
指宿慶(父)	慶蔵	都城市	二万円
黒木利(妻)	シヅ子	仲町	五万円